

1 基本情報	
施設名称	大阪市立此花区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合
数値目標	85.2%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和元年度～令和3年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市此花区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績			
成果指標	満足と回答される方の割合	利用者数(目標：前年度利用者数の20％増)	新規登録者数(目標：前年度新規登録者数の20％増)
数値目標	85.2%	44,897	120
年度実績	91.7%	36,845	112
達成率	107.6%	82.1%	93.3%

利用状況			
	当年度	前年度	前年度比
利用人数	36,845	37,414	-569

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	16,768,000	16,697,000	0	－
	計画	16,768,000	16,697,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	0	50,600	-10	－
	計画	10	10		
合計	実績	16,768,000	16,747,600	-10	－
	計画	16,768,010	16,697,010		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,227,408	13,046,545	-453,592	－
	計画	13,681,000	14,100,000		
物件費	実績	2,474,121	2,655,937	-612,889	修繕費の減。
	計画	3,087,010	2,607,010		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
合計	実績	15,701,529	15,702,482	-1,066,481	－
	計画	16,768,010	16,707,010		

4 管理運営状況の評価（1次評価）			
（1）成果指標の達成			
評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	107.6%	B	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を概ね達成している。
利用者数(目標：前年度利用者数の２０％増)	82.1%	C	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を少し下回った。
新規登録者数(目標：前年度新規登録者数の２０％増)	93.3%	B	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を概ね達成している。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・節電および比較見積調達による経費節減。 ・市の出前講座や地元企業を利用することによる謝礼節減。	B	節電・節水や軽微な保守修繕は職員が行うなどの取り組みをし、市費の縮減に努めた。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・消防署と連携した消火等訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、定期的な換気や手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・参加者が多く見込まれる講座やコンサートなどは併設施設の区民ホールを利用し開催するなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・職業体験学習として学生を受け入れるとともに近隣の消防署や警察署などと連携しながら講習等を実施するなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程を定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、再生紙の使用を行うなど実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

(1) 調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
(2) 回答者146人（未記入者含む）
(3) 質問項目 ア 基本的な事項（年齢、居住区等） イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
(4) 結果 ・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が91.7%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.事業報告書のPDCAは全体として分かりやすいが、「C（成果と課題）」はしっかりとした分析に基づいてさらに深めその詳細を記載していただきたい。また、センターの利用促進等の他の箇所もPDCAで記載いただきたい。
2.センター利用者を増やすための取り組みとして、センター専用のLINEの導入を検討していただきたい。また、サテライト事業も引き続き法人や地域組織と連携して進めていただきたい。
3.男性の利用者を拡大するための取り組みを検討し実施している点は評価できるので、そこでの難しさの分析も含め、さらなる男性利用者の利用促進に向けて検討内容を深めて、展開していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施したり、感染対策を十分に行うことができない活動は自粛したり等の影響があったものの、満足度アンケートで目標を達成したほか、新たな講座開講など多様化するニーズに応えるため、多彩な事業を実施したこと、新規利用者も増加しているなど、成果指標は、概ね達成している。 一方で、新型コロナウイルス感染症のまん延以前と比べると、年間利用者数は大きく増加（H30 30,803人 → R5 36,845人）しているものの、登録者数は減少（H30 792人 → R5 607人）しており、リピーターの割合が著しく高くなっているものと推察される。新規利用者が広く継続的に増加するよう、工夫されたい。
市費の縮減	B	節電および比較見積調達による経費節減などにより管理経費の節減を行っており、効率的に管理運営を実施している。
管理運営の履行状況	B	利用者がセンターで楽しむだけでなく、地域関係団体とも連携していただけるように、センターの運営を行った。 これまで利用の少なかった男性等の利用促進のための方策を行っている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	本市が期待する管理運営を行った。 しかし、専門家の意見にもあるように「C（成果と課題）」はしっかりとした分析に基づいてさらに深め、その詳細を記載していただきたい。また、センターの利用促進等の他の箇所もPDCAで記載いただきたい。 そのためにも、事業計画を作成する「P（計画）」の段階では、利用者数や新規登録者数の増加等の目標に向けて、事業をどのように展開するのか、体系的・戦略的に構築されたい。 あわせて、男性や比較的若い方々等の新たな利用者の開拓に向けて、ICTを活用した新たな方策やその他地元や企業等の連携の活用などでの周知を進め、いっそうの新規利用者の増加に努めていただきたい。
総合評価		